

居心地の良い地域を目指して『錦町しあわせ計画』

基本理念 「ずっと住み続けたい『錦町』」

～錦町の福祉課題に目を向けてみると～

- 地形的な特徴や過去の災害から、山腹崩壊による山津波や土砂災害が想定される中、避難行動に支援を必要としている人も増えています。
- 独居高齢者や孤独死が増えています。

～策定委員会で出された錦町の気になること～

- 災害時の避難場所の確認
- 孤立地域の避難手段
- 高齢者の情報を知りたい
- 高齢者がいつでも集える地域にして欲しい
- 高齢者の楽しむ場所を作ろう など

子どもから高齢者まで、障がいのあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたまち『錦町』で安心して生活していくという想いを形にするために、錦町校区の小地域福祉活動計画の基本理念「ずっと住み続けたい『錦町』」を推進していきます。
2つの基本目標を柱として、地域の諸団体や住民の皆様と目標を共有し、5年後の目標に向かって継続的に課題解決に取り組んでいきます。皆様のご協力をよろしくお願いします。

災害時の安全対策 ～災害は忘れた頃にやってくる～

基本目標1

災害に関する勉強会や広報を通して、いつ起こるか分からない災害への心構えと避難方法を周知し、住民1人1人の意識を高めていきます。

実施項目

- 本場に役立つ災害対策
- 緊急連絡網の整備
- 緊急時のマニュアル作り
- モデル地域を作る
- 模擬訓練の実施

魅力再発見 ～浪漫の街 錦町～

基本目標2

錦町校区の誇りである伝統や歴史を守るための活動を通して、地域の魅力を再発見し郷土愛を育てていきます。

実施項目

- “錦町マイスター”と“錦町散歩”
- 錦町マイスターの紹介と講演
- “婚活パーティ”の開催
- 観光ボランティアの育成